

# いいまち 議会だより



## 《9月定例会》

平成25年度決算を認定

予算執行をより透明に …… ② ▶ ⑨

ひとこと広場 …………… ⑩

10人が町政を問う ……… ⑪ ▶ ②①

町民の声を議会へ

「やすらぎ」をよりよく …………… ②④

議会だよりクイズ (応募待っています)

第67号 平成26年10月15日

発行：長野県飯島町議会

はじまるよ(ふれあい広場)



# 9月定例会

# 平成25年度決算審査

実質単年度収支\* 1億7633万円の黒字  
単年度収支 635万円の黒字

9月定例会は、9月5日から17日までの13日間開催されました。

本会議初日に平成26年度補正予算案件ほかを審議・可決しました。

平成25年度一般会計・各特別会計および水道事業会計の決算および陳情・

請願7件は2つの常任委員会に分割付託され、それぞれの委員会で慎重審査しました。本会議最終日に委員会審結果どおりこれらを認定・採決しました。

一般質問には10人が立ち、町政をたしました。

## 一般会計

### 歳入

46億8407万円 前年度対比 9482万円 増

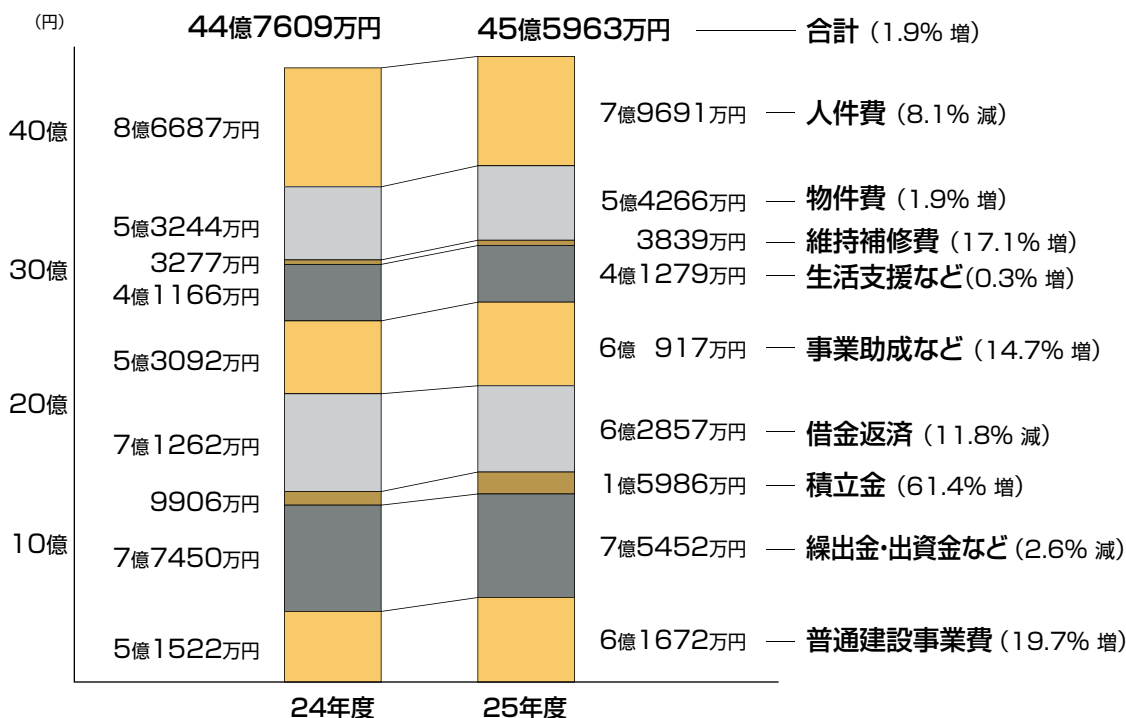
主な増減内訳は町税1680万円、地方交付税5076万円、国庫支出金804万円県支出金2947万円など増加し、町債1580万円減少です。

### 歳出

45億5963万円 前年度対比 8353万円 増

主な増減内訳は普通建設事業費が、CATV伝送路高度化・地方特定道路整備事業により増え、積立金は下水道事業の償還・広域ごみ処理施設負担・公共施設長寿命化を含み増となりました。

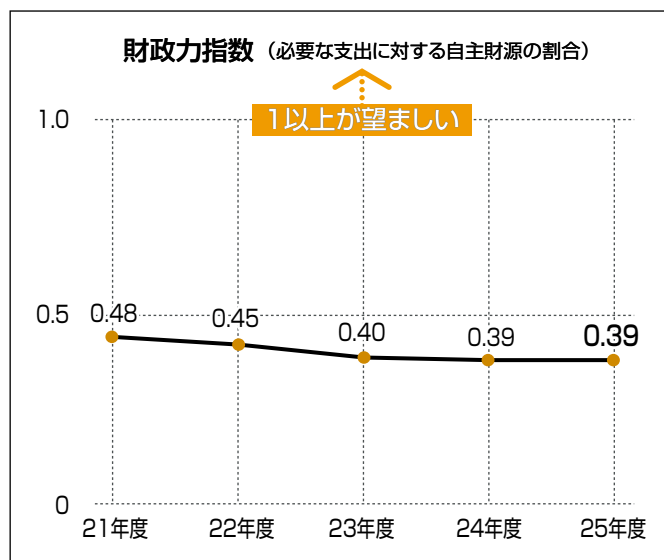
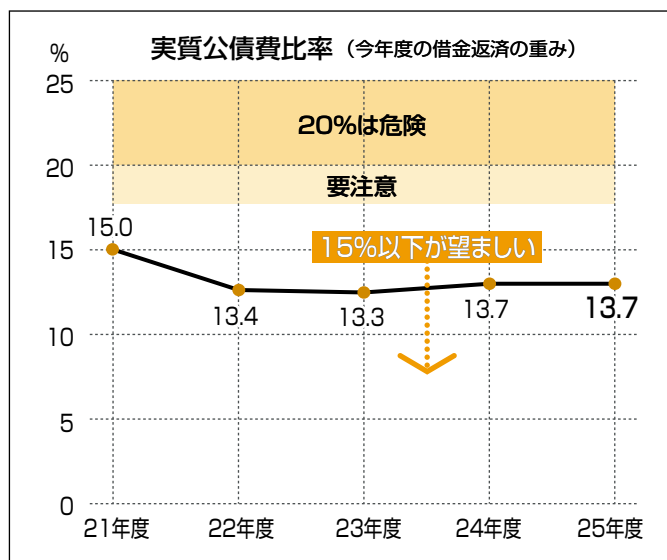
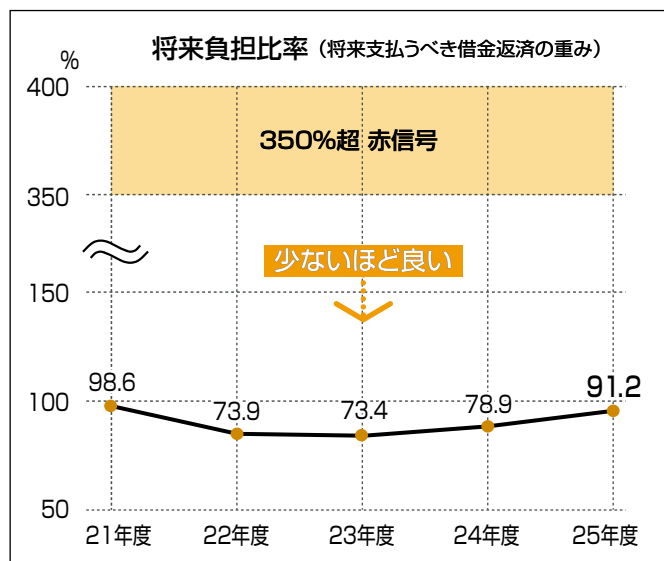
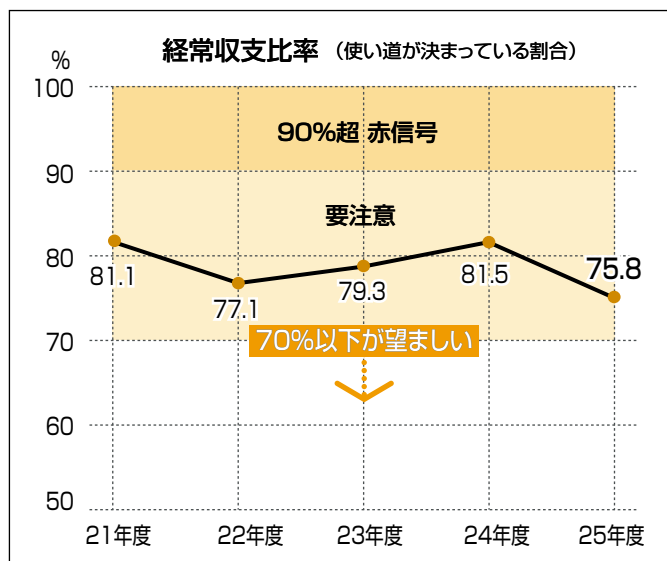
性質別決算額の推移グラフ



\* 実質単年度収支とはその年度中に発生した赤字か黒字か(単年度収支)に、貯蓄や借金などの増減を加味して財政収支を見る方法。単年度収支が赤字でも借金の早期返済や積立金を増やして実質単年度収支が黒字になる場合や、黒字に見えていても貯蓄を取り崩している実質赤字の場合もある。

将来に備えた対応を評価

# 健全財政のもとで暮らしやすい町へ



- ・ 経常収支比率は公債費を抑え、職員の給与カットもあって改善された。
  - ・ 下水道事業の償還増により、将来負担比率の悪化が続くことに留意が必要である。
  - ・ 町民税は減少を免れたものの大幅増は見込めない。健全な財政運営に努力したことは認められる。
- ただし、上伊那広域連合や伊南行政組合への負担増が予想され、慎重に対応する必要がある。

## 平成25年度 会 計 別 決 算

| 会計区分 |          | 歳入        | 歳出        | 差引額       | 貯金(基金)    | 借金(公債費)    |
|------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 一般会計 |          | 46億8407万円 | 45億5963万円 | 1億2443万円  | 18億4753万円 | 50億2083万円  |
| 特別会計 | 国民健康保険   | 10億 795万円 | 9億4033万円  | 6762万円    | 1億9818万円  | —          |
|      | 後期高齢者医療  | 1億1455万円  | 1億1210万円  | 244万円     | —         | —          |
|      | 介護保険     | 9億6787万円  | 9億5714万円  | 1072万円    | 4117万円    | —          |
|      | 公共下水道事業  | 3億5518万円  | 3億2752万円  | 2765万円    | —         | 42億4424万円  |
|      | 農業集落排水事業 | 2億7090万円  | 2億4304万円  | 2785万円    | —         | 22億1493万円  |
| 水道事業 |          | 2億8160万円  | 3億8262万円  | ▲1億 101万円 | 1億 150万円  | 17億4539万円  |
| 合 計  |          | 76億8214万円 | 75億2241万円 | 1億5972万円  | 21億8838万円 | 132億2539万円 |

（万円未満は切り捨て）

# 黒字決算を評価

## 基金積み立てや専決処分\*など 予算執行をより透明に



あなたの税はここにも生きています

### 全会計決算を認定

#### 一般会計

賛成 財政力指数は、  
1 に近づける努力が必  
要だが、前年度と同様  
0・39にとどまった。  
滞納繰り越し分の収納  
額約622万円は前年  
度より140万円の増。  
滞納者を納税できる生

賛成 財政力指数は、  
1 に近づける努力が必  
要だが、前年度と同様  
0・39にとどまった。  
滞納繰り越し分の収納  
額約622万円は前年  
度より140万円の増。  
滞納者を納税できる生

#### 特別会計および 水道事業会計

賛成 財政力指数は、  
1 に近づける努力が必  
要だが、前年度と同様  
0・39にとどまった。  
滞納繰り越し分の収納  
額約622万円は前年  
度より140万円の増。  
滞納者を納税できる生

\*専決処分  
緊急の場合、規定に基づ  
き議会議決前に町長が処  
理すること。

活設計へと導くなど、  
収納職員の努力を評価。  
個人町民税前年度比  
3・11%増。

### 陳情・請願の本会議での審議結果

| 内 容            | 提出者        | 付 託 | 結 果                                                                                             |
|----------------|------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 誰もが利用できる介護制度を  | 上伊那医療生協    | 社 文 | <b>一部採択</b> 賛成 9・反対 2 <b>意見書提出</b><br><b>反対</b> 制度維持のために改定やむなし。<br><b>賛成</b> 介護予防を維持すべき。        |
| 「手話言語法」制定を     | 上伊那聴覚障害者協会 | 社 文 | <b>採択</b> 賛成 11・反対 0 <b>意見書提出</b><br><b>賛成</b> ろう者の生活に必要な言語である。                                 |
| 福祉医療費窓口無料化を    | 上伊那医療生協    | 社 文 | <b>採択</b> 賛成 10・反対 1 <b>意見書提出</b><br><b>反対</b> 補助金削減による財政負担が心配。<br><b>賛成</b> お金を心配せず受診できる仕組みを。  |
| 地震防災特別措置の延長を   | 県地震対策連絡協   | 総 務 | <b>採択</b> 賛成 11・反対 0 <b>意見書提出</b><br><b>賛成</b> 期限延長を求める。                                        |
| 農業改革は慎重に審議を    | 上伊那農協      | 総 務 | <b>採択</b> 賛成 10・反対 1 <b>意見書提出</b><br><b>反対</b> 農協は巨大化して自浄能力がない。<br><b>賛成</b> 国は農協の自己改革を尊重支援すべき。 |
| 集団的自衛権の閣議決定撤回を | いいじま九ちゃんの会 | 総 務 | <b>採択</b> 賛成 9・反対 2 <b>意見書提出</b><br><b>反対</b> 閣議決定を支持する。<br><b>賛成</b> 閣議での憲法解釈変更には反対。           |
| 消費税10%への増税中止を  | 上伊那民主商工会   | 総 務 | <b>不採択</b> 賛成 3・反対 8<br><b>反対</b> 国会の決定事項。<br><b>賛成</b> 景気回復の妨げになる。                             |



26年度補正全員賛成で可決 基金へ3045万円

## 非常用電源強化

ふるさと応援寄付者10倍に

9907万円を補正  
総額45億4764万円に

### 一般会計

#### 主な補正財源

- 国から
  - ◇地方特例交付金 65万円
- ◇普通地方交付税 6106万円
- ◇障がい児通所給付費等負担金など 203万円
- 県から
  - ◇障がい児通所給付費等負担金 79万円



非常用電源(田切体育館)

#### 寄付金

◇ふるさといいじま応援寄付金 845万円

◇小学校費寄付金 3万円

◇減債基金繰入金 ▲3887万円

◇前年度繰越金 5947万円

#### 繰入金

◇ふるさといいじま

◇公共施設等整備基金積立金 2200万円

◇ふるさといいじま

◇ふるさといいじま

◇応援寄付者用特産品 402万円

◇給油所非常用電源設置補助 175万円

◇文化館非常用電源設計 43万円

◇自主防災組織整備補助金 160万円

◇障がい者自立支援給付負担返還金 291万円

◇障がい児通所支援事業 318万円

◇後期高齢者医療給付費 263万円

◇中央道跨道橋工事助成金 200万円

◇中央道跨道橋工事

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

#### 主な使いみち

諸収入  
◇県市町村振興協会基金交付金 344万円

◇中央道跨道橋工事助成金 200万円

◇中央道跨道橋工事

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

◇中央道跨道橋工事 370万円

◇水痘・高齢者肺炎球菌予防接種 324万円

◇小学校施設修繕 147万円

◇道路補修費・新設改良費 3290万円

◇道路補修費・新設改良費 370万円

#### 審議から

問 ふるさと納税が増えたと報道されているが、内容は。

答 25年度は年間で50件、26年度は8月まで553件と、寄付者が10倍に急増。

問 中央道跨道橋補修の進捗は。

答 道路13・水路13が対象であるが、実施はまだ半数。

問 自主防災組織整備の内容は。

答 防災倉庫の携行缶・ストープなど。

#### 国民健康保険

◇ヘルスアップ推進事業 213万円

◇後期高齢者医療に 総額10億509万円

◇広域連合納付金 144万円

◇総額1億2323万円に

◇介護保険

◇予備費など 872万円

◇総額10億9303万円に

◇公共下水道

◇予備費など 2465万円

◇総額4億1568万円に

◇農業集落排水

◇予備費 2285万円

◇総額3億121万円に

◇水道事業

◇建設改良費 792万円

◇資本的支出総額 1億3082万円に

## 決算審査

### 道路舗装・管理の充実を

平成25年度飯島町各会計決算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致で認定すべきものとしました。

また町・県の事業を現地調査しました。

#### 【総括質疑】

後には大変な事態が予想される。今から対策を考えるべきでは。

問 地元要望の道路舗装が進んでいない。道路整備事業費には補正予算がついておらず、25年度実績で1路線しか実施されていない。

町長 350kmの町道を全部町で行うと、1億円以上の費用が必要でとてもできない。できるだけ自助・共助で進めてほしい。雪かきと同じ考えでいきたい。

町が主体性を持って判断し、予算を確保し早期に実施すべきだが。

町長 地元の負担もあるので難しい面があり、総体的に考え推進していく。予算は最低でも前年度以上を確保し、舗装が進むよう努力する。

問 路肩の草刈が課題となりつつある。

町長 路肩の草刈が課題となりつつある。高齡化が進み、5年

問 国・県道端の植栽の間に雑草が繁茂している。またパイパスや竜東線の工事でできたのり面に雑草が生え、農業に影響もある。

町長 国・県道端の植栽の間に雑草が繁茂している。またパイパスや竜東線の工事でできたのり面に雑草が生え、農業に影響もある。

国・県へ管理の申し入れをすべきだが。

町長 国・県へ管理の申し入れをすべきだが。

標準財政規模の30%

町長 標準財政規模の30%

を目標として調整していきたい。

問 土地開発公社補助金が予算の専決によって、ゆがめられた決算となっているが。

町長 今後とも、専決は慎重に行う。

問 職員の事務負担が増している。臨時職員頼みでは継続性が保てない。5年先10年先を見据え、行政のレベルアップを図れる職員数と体制の充実を考えるべきでは。

町長 現状は厳しいことを承知している。次年度以降を総合的に考え対応していきたい。

問 定住促進は、住みやすいまちを目指すのが基本だ。子育て支援や弱者対策・循環バスなど連携し、総合的に事業を推進することが必要ではないか。

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

町長 移住者に限らず

総合的なまちづくりの中でやっている。実施計画の中で連携を取って対応していく。

問 飯島の高速バス停は階段がきつく、傷んできている。弱者には不自由なバス停となっている。改善を検討した経過があるか。

町長 部分的に改良してもらった経過はあるが、構造的に難しい。打診はしていく。

問 小川村では、職員がふるさと村民制度を提案し村外者との交流を図っている。飯島でも取り組んでは。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

町長 町も提案制度を持つている。提案を検討してみたい。

早く第三者評価も取り入れるべきではないか。

◆行政報告書の内容を充実し情報公開を進めるべきでは。

◆町の体力が落ちていくことが決算数値から見られる。根本から対策を取るべきだ。ひとつとして資料のペーパーレス化により、会議の「見える化」を進め職員のやる気を引き出すべきだ。

◆短期間の人事異動ではなく、職務により専任化を図るべきだ。

◆4つのプロジェクトの活気が感じられるようになってきた。成果を期待する。

◆広域連合の財政を厳しく見張るべきだ。

◆水道事業は、これから厳しくなっていくことが見込まれる。できるだけ経費の節減に努めてほしい。有収率は非常に良い状況であると評価する。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。

◆行政評価は、内部評価が甘い部署や良い面が低く評価されている部署も見受けられる。





幹線道路の雑草

## 幹線道路の雑草

どうする

平成25年度に執行された事業箇所を9月12日に視察しました。

木製の床を張り替え、鋼材による補強も行なわれました。

### 七久保横沢取水口

老朽化していた農業用水の取水口が改修されました。流木の突入を防ぐ鉄柵が設けられ、水門の開閉機も改善されています。

### 千人塚水上舞台

工事が仕上げ段階に入った竜東線・バイパス交差点周辺を視察しました。急傾斜で面積の広い、道路のり面の雑草対策が課題であることを感じました。

### 田切日方磐

トンネル付近

採 択 請願 国へ

### 集团的自衛権の閣議決定撤回を

#### ◆ 内容

集团的自衛権容認の閣議決定を撤回し、関連する法整備などを行わないことを求める。

**反対** 9条のもとで許される自衛権の限界を示したもので、解釈改憲ではない。集团的自衛権を認めたものではない。

**賛成** メディアは、閣議決定で集团的自衛権を導入したとしている。

**賛成** 国の安全保障政策は立憲主義に基づくべきで、集团的自衛権が閣議決定で行われることは反対である。

賛成 3 反対 2

提出者

いいじま九ちゃんの会

高橋 和恵氏

紹介議員

浜田 稔

採 択 陳情 国へ

### 地震対策の延長を

#### ◆ 内容

地震対策緊急整備事業への国の財政上の特別措置の期限延長を求める。

賛成 5 反対 0

提出者

県地震対策協議会

山田 勝文氏

請願・陳情審査

採 択 陳情 国へ

### 農業改革は慎重に審議を

#### ◆ 内容

農協の自己改革を後押しする政策を求める。

**賛成** 農協は、地域の農業者のための組織である。自己改革を進めるとしているの、国はそれを支援すべき。

賛成 5 反対 0

提出者  
上伊那農協

御子柴 茂樹氏

不採択 陳情 国へ

### 消費税10%への増税中止を

#### ◆ 内容

消費税率10%への増税中止を求める。

**反対** 消費税率10%は法律の決定事項。

**反対** 7月～9月の経済状況を見て判断するとしているので、その様子を見たい。

**反対** 社会保障費の確保のためにも消費税引き上げはやむをえない。

**賛成** 消費税増は国内消費を妨げ、景気回復が見込めない。一方で相当額の企業減税が行われている。ここに社会保障の財源はある。

賛成 1 反対 4

提出者

上伊那民主商工会

滝沢 孝夫氏

## 決算審査

### 事業選択や 組織機構の見直しを

平成25年度飯島町各会計決算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致で認定すべきものとなりました。また、町事業の現地調査をしました。

#### 【総括質疑】

**問** 決算の実績は評価するが体制的な無理はないか。事業選択や職員体制充実が必要では。  
**町長** 体制や組織は常に見直し、実施事業は話題性より住民要望に重点を置いている。

**問** 保育職場は乳幼児や延長保育で業務量が増えている。職員配置は十分か。また、若い保育士の研修機会は確保しているか。  
**町長** 規定以上に配置し、ほぼ充足している。教育長 経験の浅い保育士は研修に参加させている。

**問** 生涯学習事務事業が増加している。主催講座の自主運営化など整理すべきでは。  
**教育長** 寿学級などを除き、自主運営移行に引き続き努力する。

**問** 生活弱者支援の環境として、学童クラブの充実・高齢者対策への考えは。  
**町長** 充実すべく総合的に進める。

**問** 身体障がい者協会などの事務局を社協で支えられないか。  
**町長** 実現に向け検討

**問** 自殺対策として、ゲートキーパーの養成に力をいれてきたが、今後はネットワークの構築などで活用が必要では。  
**町長** 必要性を感じており、検討する。



社協ふれあい広場にて



# 進む公共施設の安全と快適

平成25年度決算審査に係る事業箇所を9月12日に視察しました。

## 七久保保育園改修

園児の安全確保のため、3力年事業で窓ガラスに飛散防止フィルム工事が行われていきます。2年目は園舎北側の窓ガラスが施工されました。また、調理室搬入口が改修され、食品衛生環境が向上しました。

## 本郷体育館改修

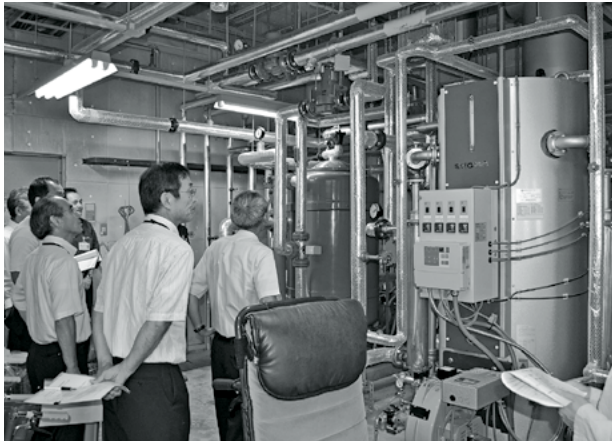
老朽化により雨漏りの原因となっていた雨どいが修繕されました。また、トイレが汲み取りから水洗に改修されました。

## 中学校整備

保健室にエアコンが設置され、体調の悪い生徒もこれで安心。

## 石楠花苑修繕

老朽化したボイラー・一般浴槽が改修され、



寒い冬もこれで大丈夫

## 病児・病後児 保育懇談会

利用者は快適に入浴ができるようになりました。また、和式トイレを洋式にしました。

## 「子ども・子育て 支援新制度」 学習会懇談会

国庫補助制度内容や委員会の先進地視察などの情報を交換し、町の事業化に向けた検討を行いました。

委員会は、9月12日に山田教育長および関係職員と学習会を開催しました。

新制度は、本年度中に計画を策定し、27年度からスタートする事業です。幼保一体認定子ども園、病児・病後児保育や待機児童解消施策などが主な内容です。

新制度に対する国民の期待は大きく、町教育委員会の方針を基本に、制度内容や今後の進め方を学習し、意見交換をしました。

## 請願・陳情審査

一部採択 陳情 国へ

### だれもが使える介護保険制度を

提出者 上伊那医療生協 高橋真一氏  
賛成 4 反対 1  
内容 介護保険サービス水準を低下させないよう求める。  
賛成 重症化予防のためにも必要。  
反対 制度維持のために給付水準の見直しはやむをえない。

採択 請願 国へ

### 「手話言語法」制定を

提出者 上伊那聴覚障害者協会 樋口絹子氏 紹介議員 折山 誠  
賛成 5 反対 0  
内容 手話を言語として確立し、普及のため法整備を求める。  
賛成 聴覚障がい者の生活に必要な言語で、国の制度とすべき。

採択 陳情 国へ

### 福祉医療費窓口無料化を

提出者 上伊那医療生協 下平 まち子氏  
賛成 4 反対 1  
内容 子ども・障がい者などの医療費窓口負担の無料化を求める。  
賛成 生活弱者がお金を心配せず受診できることが必要。  
反対 無料化で国の補助金が削減され、町の財政負担が心配。

# ひとこと広場

「あれどうなの」ページ  
議員の動きが見えたり

とても楽しい企画ですね。  
今迄議会だよりは時々しか読みま  
せんでしたが、今回はしっかり読みました。

こんな楽しい企画は始めて知った。おかげで、なか  
普段目を通さなかった議会便りにも目を通くました。

◎千人塚のマレットゴルフ場は  
中高年者向けのもの。  
若者が集まる様な場所も  
必要ではないかと思ひます。



e-mailでいただいた質問です。

Q 専決処分とは何ですか。

A 緊急の場合、規定に基づき議  
会議決前に町長が処理するこ  
とです。

Q 一般質問の順番はどう決めて  
いますか。

A 議員が質問項目を提出した順  
です。

11月13日開催

井戸端会議に来てください

議会主催の住民懇談会（井戸端会議）を開催  
します。

普段の疑問や不満・要望をぶつけてください。  
皆様のおこしをお待ちしています。

◆日 時 11月13日（木）

〈昼の部〉14：00～15：30

〈夜の部〉19：00～20：30

◆場 所 文化館中ホール

◆テ – マ 「元気な飯島町にする方法」  
「飯島町は子育てしやすいか」  
「高齢者は安心して暮らせるか」  
など

◆形 式 分散会方式

◆参加資格 12歳以上の住民





# 10人が町政を問う ＊一般質問＊

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。（通告順）

|       |        |                     |     |
|-------|--------|---------------------|-----|
| 久保島 巖 | 役場組織   | 大胆な改革を ……………        | P12 |
| 北沢 正文 | 子育て支援  | 新制度の取り組み姿勢は ……………   | P13 |
| 橋場みどり | 外国籍住民  | 災害時対応どう考える ……………    | P14 |
| 折 山 誠 | 防災計画   | 頻発する災害から町の検証を …………… | P15 |
| 三浦寿美子 | 5歳児健診  | 実践の検討を ……………        | P16 |
| 浜 田 稔 | 上伊那焼却炉 | 過剰投資見直しを ……………      | P17 |
| 坂本 紀子 | イベント   | 改善と活性化は ……………       | P18 |
| 竹沢 秀幸 | 災害時飲料水 | 井戸水の活用を ……………       | P19 |
| 中村 明美 | 介護予防   | 事業充実と負担抑制を ……………    | P20 |
| 本 多 昇 | 専決処分   | 整合性を考え慎重に ……………     | P21 |

追跡

## あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後のゆくえ

### 平成25年12月定例会 一般質問

- 問** ふるさと納税のお礼に飯島産の米と米俵をプレゼントしては。
- 答** 今まで米は品目に入っていなかった  
ので、米俵も含めて考えたい。

その後

平成26年4月

飯島産の米と  
米俵を追加した。



### 平成26年3月定例会 一般質問

- 問** ふるさと納税のお礼は3万円以上を対象としてきたが、拡大のため1万円以上にしては。
- 答** 改善の余地がある。

その後

平成26年4月

1万円以上1品、3万円以上2品、5万円以上3品に拡充。  
8月末で納税額は850万円と約20倍になった（寄付者は10倍）。



久保島 巖

## 役場組織

### 大胆な改革を

### 総体的に検討する 町長

**問** 現在、気象情報や災害情報はどこで掌握しているか。

**町長** 各課で収集し総務課で一括掌握している。

**問** 避難勧告・指示はどの基準で誰が発令するのか。

**総務課長** 町内の雨量状況や警戒情報・天竜川の水位・過去の災害発生時の降雨量などを基に、町長が出す。

**問** 県内で避難勧告基準ができていないのは当町を含む10市町村だけだ。

いつできるのか。

**総務課長** 今年度中に策定し、4月からの運用を図る。

**問** 建設水道業務に危機管理・気象管理部門を加え、一括管理する「安全管理課」とすることを提案するが。

**町長** 情報は各課に関連し、管理が必要な場面が多いので、1力所に集中は難しい。

**問** まちなか活性化協議会の動きはどうか。  
**産業振興課長** 空き店舗利用やイベント開催などに向け動き出した。

**問** まちおこしソング&ダンスの普及浸透に遅れを感じる。簡単バージョンで早期の普及を。

**町長** 作曲者の橋幸夫さんの意向もあるので、輪踊りのなバージョン



1時間100mmの大雨を体験

も作りたい。

**総務課長** 今年3年計画の2年目にあたり、11月1日に正式発表し、次年度に普及を図っていく計画。遅れているという認識はない。

**問** 11月1日には誰も踊れなくて、お披露目するのか。橋さんに失礼ではないか。

**総務課長** 産業まつりをきっかけにしていく。当然踊れるように普及

に努める。

**問** 行政は最近4区に依存しすぎだ。耕地担当制を生かし、耕地・自治会の自主性や担当者能力向上を図るべきだ。

**町長** 何でも4区にとという考えはない。地域のことは地域でという「協働のまちづくり」の考え方は大切であると思う。

改善する部分があれば、地域の皆さんと相談していく。

**問** まちづくり推進室と定住促進室に観光を加え「企画観光課」を新設すべきだと思うが。  
**町長** 重要な根幹的施策として取り組む必要がある。新年度以降に向けて、行革推進本部で総体的に検討する。

**問** 税務と収納対策室を総務課に移動したらどうか。

また、住民係は福祉と一緒に良い。

26年度多くの退職者が出る。大幅な人事異動になるので、この機会に大胆な機構・組織改革を実施すべきだ。

**町長** 小さな村では総務が財政と税務・企画を所管しているところもある。財政は政策的課題を含み、税務は法に基づく実務が中心である。連携を取れば十分に動いていく。

福祉課は事務量が膨大になり、分けた経過がある。しばらくこの形で進めたい。

退職者数にかかわらず、時代にあつた組織機能と適材適所の人材配置をしていくことが本来の形だ。

職員のモチベーションを上げ、効果を出すべく、必要な組織を見極めながら進めていく。

〔以上1件質問〕



北沢 正文

## 子育て支援

## 新制度の取り組み姿勢は

子どもや保護者の利益を中心に 町長

**問** 子ども・子育て支援新制度に取り組み町の体制や政策は。

**町長** これまでと同様に、保育や子育て支援の施策は、子どもや保護者の利益につながるよう進めていく。担当部署は引き続き「教育委員会子ども室」とする。

**問** 子ども・子育て支援計画の策定はいつか。

**教育長** 現在策定中。

**問** 策定には審議会を設置するか。

**教育長** 新たな審議会は考えていない。保育園運営審議会の意見を聞いて進める。

**問** おなかにいる時から、切れ目ない支援計画が必要だが。

**教育長** 健康福祉課の乳幼児・母子保健との連携により行う。

**問** 策定にあたって、

住民ニーズをどう反映するか。

**教育長** 新制度が始まってから大きな変更はないと考えている。

昨年度、5歳以下の子を持つ保護者に実施した「子育て支援に関するアンケート調査」を基礎データとする。

ここで出た意向を踏まえ、多角的・多面的な支援体制の構築をしていきたい。

**問** 新制度では、保育料・幼稚園の就学奨励費補助はどうなるのか。

**教育長** 国から示されている内容からして、これまでと変わらないと考えている。

**問** 学童クラブの運営はどうなるのか。

**教育長** 新しい国基準では、現在の場所でも60人が可能である。利用日数・利用時間・保護者負担など要望事項は検討していきたい。

**問** 法律が想定する13事業への取り組みは検討しているか。

**教育長** アンケート調査の結果など踏まえ、拡充を検討していく。

居宅訪問型保育など認定施設は、要望があつた段階で対応したい。

**問** 3歳児保育の基準が園児20人に職員一人から、15人に一人となるなど変更がある。職員の体制はどうするか。

**教育長** 保育園の職員

配置は、すでに基準以上きめ細かな対応をしている。内容の充実を視野に入れながら対応していく。

**問** 子ども・子育て政策への町長の姿勢は。

**町長** 未来ある子どもたちの支援に全力を尽くす。

## 教育委員会

## 制度改革

**問** 制度改革に対応する町の体制は。

**町長** 教育は政治的な中立性と継続性・安定



切れ目のない子育て支援計画を

性を担保して行くことが、最優先されるべきと認識している。

**問** 総合教育会議は町長部局で所管するのか。

**町長** まだ固まっていない。

**問** 町の後期5カ年計画と教育大綱はどう調整するのか。

**教育長** 前期計画の「人を育むまちづくり」に示した方針と大綱は、共通する部分が多いと感じている。

大綱の策定は今後の判断だが、これまで積み上げてきた町の総合計画の趣旨を、教育大綱に反映していきたい。

**問** 教育委員会の新制度への移行の時期は。

**町長** 教育長の教育委員としての、任期である平成29年12月25日の翌日からとなる。

〔以上2件質問〕





橋場 みどり

## 外国籍住民

### 災害時対応どう考える

#### 国・県方針の具体化を検討 町長

**問** 人口減少から人手不足の状況を見ると、外国籍住民が増えることが予想される。国籍や民族の異なる人々がお互いを認め合い対等な関係を作り、生きていく地域づくりが必要となってくる。

現在町には日本人だけでなく、多くの外国籍の人達が暮らしている。もし起きたらではなく、いつ起きるか分からない災害に、町は外国籍住民・外国人旅行者への対応をどう考えているか。

**町長** 大地震や自然災害が発生した際に日本語が十分理解できない。また、災害対策本部や報道機関などが発信する災害情報を得ること

が困難だという現実がある。地震の経験が少なく、災害知識に乏しいので精神的不安を抱えてしまうことも考えられる。

今、消防庁や県もマニュアルなどを作って対応し、できるだけ浸透していくようにとの指導も出ている。

町も独自に考えながら、国際協力会にも支援・協力をもらいながら対応していく必要があると考えている。

**総務課長** 国際協力会との意見交換も考えている。

また国際協力会は、毎年開催の「みなこいフェスタ」を活用し「防災関係について一般の人も含めた啓発を」と

言っている。町も一緒に取り組みたいと考えている。

県のガイドラインもできたので、その指導を得ながら対応していく。

#### サポーター制度を提案

**問** 町は昨年、県が行った「多文化共生推進連絡会議」に出席していない。関心が薄いと思う。前もって準備が必要な多言語シートはできているか。

**町長** まだできていない。組織への関係や参加も含めて検討する。

\*公共施設などに掲示する多言語の説明書

**問** 多言語シートはいつ実施するのか。

**総務課長** 避難場所となる施設は約20カ所あ

る。予算の制約もあるが、まずはそこに看板の設置を今年度検討してみたい。



初めての避難訓練を終えて

**問** 外国籍住民に対し、災害対応の予算化を要望するが。

**町長** 新年度に向けた予算化は、今後の実施計画の中で位置づけて前向きに考えていく。

**町長** できるだけ町の状況や災害対応の理解を得られるようにしたい。自分で責任を持ち行動ができるよう、可能な限りの手法を講じていきたいと思っている。

**問** 外国籍の人は町の情報を知りたい、私たちはそれを知らせたい。せめて広報紙の英語版をホームページに載せてほしいが。

〔以上2件質問〕



折山 誠

## 防災計画

## 頻発する災害から町の検証を

他を教訓とし見直す 町長

**問** 全国で発生している記録的・局地的豪雨災害を町内のこととして当てはめ、今の防災計画の検証と改訂が必要では。

**町長** 他を教訓とし、防災会議に諮り、地域の合意を得ながら逐次計画の見直しを進める。

**問** 町内の耕地・自治会集会施設を、避難弱者の身近な第一次避難所として位置づけ、食料などの備蓄を。

**町長** それぞれの規模により収容能力も異なるので、地元協議する中で今後検討。

**問** 地域自主防災会役員は、自治会役員任期で、ほぼ毎年交代している。また、他の役職や職場の状況により、防災役職を全うできない人もいる。

**町長** 役員交代時期は、災害に対して組織的に弱い弱だ。そこで、年度当初に町が呼びかけ、



自主防災会訓練

耕地自治会単位の会議を開催する。またアドバイザーとして、地域担当職員が会議に同席するよう求める。

**町長** 年度当初に「区長耕地自治会会長」を開催しているが、防災に特化した打ち合わせは行っていない。新年度の検討課題と受け止める。また地域には、防災役員交代時の円滑な引継ぎを期待する。

## 子ども・子育て新制度積極活用を

**問** 子ども・子育てを国民負担で充実させる新制度が、来年度からスタートする。子ども・子育て環境整備のため積極的に取り組むべきだと思うが。

**町長** 新制度の有無に関わらず、町は独自の支援制度を先駆けて行っている。また財源の有無に関わらず取り組むべきものと思っ

いる。  
**教育長** 新制度は拙速に進めない方が良くと考えているが、熟慮を重ねて事業を計画していく。

**問** 若いお母さんから『出産祝い金制度があったなら、もう一人子どもをほしかった。』という要望があり、適

齢期の多くの女性の願いと感じた。新制度の中で「子ども・子育て基金」を創設し、祝い金制度復活などの財源とすべき。

**町長** 国の制度構築に期待しながら、町の検討課題としたい。

**問** 「幼保一体の認定子ども園」へのニーズと設置に対する町の考えは。

**教育長** 要望は無い。町保育士の多くは幼稚園教諭の免許を持ち、教育的見地の保育も行っているので、必要

ないと考える。

**問** 病児・病後児保育への要望がある。新制度では支援対象としていので、事業化を求める。

**町長** 近隣市町村との連携事業として検討したい。

## 手話ボランティアの支援と活用を

**問** 活動支援として、町内手話講座に担当職員を派遣すべきだ。また、関係者を防災・総合計画などの策定委員会や審議会の有識者とすべきでは。

**町長** 団体育成・災害時のコンセンサスなど、職員対応を検討する。

〔以上3件質問〕





三浦 寿美子

## 5歳児健診

### 実践の検討を

### 3歳児で対応している 教育長

**問** 駒ヶ根市は平成16年から「子ども課」の設置と、国内でも数少ない「5歳児健診」を実施している。

**集団生活が始まる時期に行う発達検査の結果で、就学準備や就学後の支援をおこなっている。一つの窓口で対応している。**

**町では「5歳児健診」の実施を検討したことがあるか。**

**町長** 平成19年に駒ヶ根市の取り組みを参考に検討し、当町でも「子ども室」を設置した。

その時すでに、町では3歳児健診以降の発達上の障がいをもつ子を見いだし、ケアをする事業に取り組んでいた。

5歳児健診に劣らない十分な対応ができていると判断した。この仕組みは現在まで続いている。

スムーズな接続が困難な状況だった。その結果として、5歳児健診を取り入れたと聞いている。

『という人がいる。このような状況では、若者定住・安心して子育てできる町とは言えない。』

**問** 長野県教育委員会が、平成22年度に文科省に提出した資料がある。5歳児健診の狙いを「集団生活になじめない子どもの様子で、保護者が障がいを感じることが多い。この時期に健診を行うことが早期発見につながる。」としている。県教委は駒ヶ根市の取り組みを評価している。

町はどのように見ているか。

**教育長** 駒ヶ根市では小学校の数が多いため、幼稚園・保育園からの

当町では、早期に該当の子どもをフォローし、情報が小学校に伝達できるシステムが確立していた。

幼児期から児童期への適切な移行措置を、どう図っていくのかという情報交換こそが、有用有益と考えている。

幼児期から児童期への適切な移行措置を、どう図っていくのかという情報交換こそが、有用有益と考えている。

幼児期から児童期への適切な移行措置を、どう図っていくのかという情報交換こそが、有用有益と考えている。

### 未満児保育受け入れ体制は

**問** 『出産のため孫を預かることになった。未満児保育に預けたかったが、3園とも定員がいっぱいといわれ

た』という人がいる。このような状況では、若者定住・安心して子育てできる町とは言えない。現状をどのように認識しているか。

**教育長** 現在、未満児保育は定員いっぱいという状況ではない。総体的に受け入れる余力はある。

極めてまれだが、同時期・同年齢の幼児の入園希望があつた場合にお断りすることもある。

**問** 未満児保育が非常に増えている。中途の入園希望者も増えている。

今後、未満児保育の拡充が必要ではないか。

今後、未満児保育の拡充が必要ではないか。



お母さんに寄り添った子育て支援を

**教育長** 来年度から、新保育制度により保育を進める。未満児に、新たな区分として認定制度が加わることになる。

保護者の勤務時間の選択により、未満児の定数を定めることになる。

現在の体制をチェックし、未満児の受け入れの体制を整えていく。

〔以上2件質問〕





浜田 稔

## 上伊那 焼却炉

# 過剰投資見直しを

## 必要な修正は求めていく 町長

**問** 伊那市に建設予定の新ごみ焼却施設が、発注選定の段階に入った。総額250億円の巨大事業だ。

住民努力で上伊那のごみは減り続けているのに、広域連合の計画は甘い。昨年度の実績と所見は。

**町長** 上伊那全体でごみは目標より約664トン、1・5%少なかった。しかし今後も増税や景気変動の影響を受けると思う。

**問** 計画策定の根拠を事務局に聞いた。統計分析ではなく、各市町村の数字を積み上げたそう。飯島町の推計はどうか。

**住民税務課長** 飯島町は上伊那で2番目にごみが少ないが、昨年度は目標に達せず資源化率も落ちた。非農家や高齢の世帯増で自家処理が減り、燃やせるごみが増えたのではない

か。

ごみの中身を調査した結果、この先数年は燃やせるごみが計画をやや上回ると見ている。生ごみ減量化や紙資源の分別に努める。

**問** 上伊那全体のごみ実績は、目標よりはるかに少ない。第3次計画に基づく焼却炉の規模は134t/日とのことだが、実績からは115t/日という試

算も可能だ。第4次計画もスタートから大外れだ。生ごみ堆肥化など資源化の努力も弱い。費用を負担する自治体として、計画の見直しを求めるべきでは。

**町長** 余裕を持って建設したいが、財政負担や環境負荷を減らすべきである。計画が絶対的だとは思っておらず、必要な修正はすべきだと理事者会でも発言している。



悪臭を押さえた堆肥化施設(長和町)

**問** 他にも無駄がある。焼却炉は必要規模の1割増しで計画している。過剰投資ではないか。

災害のごみ受け入れなどのためというが、県内近隣の焼却施設には十分余裕があるので

は。

**住民税務課長** 近隣の12施設で稼働率は平均65%くらいだ。

**問** 廃熱発電にも6億円が投資されるようだが、100t/日以下では採算が合わないと言われている。ごみは年率1・3%ずつ減るので、将来赤字になれば市町村の負担になる。

理事者会は最終的な責任を負って厳しく判断すべきだが。

**町長** 施設の規模を来年2月頃に決定する。新施設には、箕輪町八乙女の最終処分場を延命する役割もある。

その特殊事情は考慮しながらも、町の財政

負担を伴うことなので、規模の縮小は真剣に議論したい。この質問で示されたデータも広域連合の中で検討してみたい。

## 町民参加は 広がっているか

**問** 第5次総合計画の4つのプロジェクトの根幹は、住民参加とされている。行政との役割分担も含め、進捗をどう見ているか。

**町長** 平成19年に4地区で組織された地域づくり委員会などで、住民参加が増えていると実感している。地域力は町が押しつけるものではない。創意と工夫でマンネリ化を乗り越えながら、自らのまちを築いていくことが大切だと思う。

〔以上2件質問〕



坂本 紀子

# 改善と活性化は

# 時代に沿って継続

を検討したい。

問へいいじまむら夢樂  
塾ここ数年、マンネ

を出しながら、時代の流れに沿うよう総合的に判断し、取り組む。継続は力なり。

える。分散会方式などを取り入れては。

**町長** 今年で22回目を迎え、農業者交流をして活性化に取り組んできた。県・地方事務所では高く評価されている。

**問** 10年後の人口減少や少子高齢化を見据えた中で、検討する必要があるが。

では高く評価されてい

産業振興課長 以前は

事例発表・講演会などが中心だった。ここ数年パネルディスカッシ

**町長** 役場全体の様々な事業の対応を、時代の流れの中で、もう一度再構築していく必要がある。

次の中期構想・計画の中でも位置付けたい。

〔以上 2 件質問〕

も、県外や異業種の人  
も積極的に参加できる  
よう、内容を工夫した  
い。

**問** 以上4事業に絞って問題提起したが、反省課題を次年度に生か

さないと、時代に合わない事業になるのではないか。町長はどう考えるか。

町長 斬新なアイデア

がでている。

桜守りは当時より意識が薄らいだが、必要なので支援していく。

問 〈お陣屋行燈市〉

町の補助額は80万円。

〈桜まつり〉町の補

助額50万円。千人塚公園にライトアップの要望があるがどうか。

**町長** 財源も含めて実行委員会で検討したい。

**問** 桜の管理は樹木医と共に取り組むべきだが、桜守りのサポートはどうするのか。

**産業振興課長** 桜が混み合ってきたので、プ

口の意見を聞いて対応したい。企業や地域のオーナー制度でも成果

**町長** お陣屋俳句大会も同時開催し、一般131人・小中学生624人の出品参加があり定着している。今年は、七久保小学校鼓笛隊や七姫会ななひめかいみこしの競いもあつた。

問 しかしここ数年、

実行委員会は息切れしている。助言しては。

産業振興課長 現在、

広報や事務を協力して  
いる。実行委員として

問 〈秋桜まつり〉

栽培に100万円、  
まつりに20万円の補助。

参画しながら、長く継続できる企画にしたい  
駅前活性化の中でも検討したい。



元気が足りないコスモス

連作障害で栽培場所の  
変更など問題が出てい  
るが。

産業振興課長 全国的

に誇れる祭り。平成24

年に移転を検討したが

だめだった。栽培者も高齢化し、新たな方向

課の編成や  
事業の見直しを





竹沢 秀幸

## 災害時 飲料水

# 井戸水の活用を

## 企業との協定進めたい 町長

**問** 大規模な災害で断水した時、耕地・自治会や避難施設で個人の深井戸を利用できるように、水質検査費用を町が負担すべきでは。

**町長** 県の飲用井戸水の衛生対策要領があり、災害で井戸水に異常があった場合は検査が必要となる。浄水器や17日分の容量がある給水タンクによる配給が現実と考える。

**問** 井戸を保有する町内事業所などと、町が協定を結んでどうか。

**町長** 町内には水を使う食品工業がいくつもあり、災害には連携していく必要がある。飲料水を含め、企業との災害時応援協定の締結に向け、手続きを進めたい。



事業所の井戸

## 福祉灯油券交付 事業の復活を

**問** 消費税増や灯油価格上昇などにより、生活弱者の冬の暮らしが厳しくなると予想される。高齢者・障がい者・要介護者・生活保護・母子父子家庭などの人々が、暖かく安心して暮らせるよう支援すべきだ。

平成19年～21年度に実施した福祉灯油券交付事業を復活しては。

**町長** 灯油価格は国際情勢で変わる。

上伊那地域の平均は、8月時点で1リットル106円。福祉灯油券を交付した当時は、120円以上と非常に高騰していた。

今後の状況により、補正予算対応などを考える。

## 住民協働で

## 少子化対策を

**問** 少子化対策・子育て支援政策の充実が必要だ。それには国の少子化対策強化交付金を活用して事業を行うべきだ。

実践には町民・事業者・行政などで少子化対策支援連絡協議会を立ち上げ、住民協働で進めては。

**町長** 飯島町は平成26年度に、国の地域少子化対策強化交付金が採択され、事業を開始した。

出合い婚活サポート事業で、担当者の配置・婚活のためのスキルアップ講座の開催・冊子によるPR・子育て講演会などである。

子育て講演会は、高齢者クラブや商工会など地域の団体、保育園から高校までの保護者・町内企業・住民と協働で開催する。

提案の連絡協議会は、現在ある子育て支援のネットワークの充実・発展で対応する。

**問** 町が進めてきた保育料の軽減は、他の市町村に先んじており評価する。更に大胆に進めるべきだが。

**町長** 新内閣も少子化担当大臣・地方創生・新任の部署担当大臣も、全力で義務教育前の支援策を取り上げている。再選された阿部知事も、子育て支援を含めて少子化対策・人口維持を掲げている。

国県の施策と連携する中で考え、次の予算編成・実施計画に対応したいと思う。

〔以上3件質問〕





中村 明美

## 介護予防

### 事業充実と負担抑制を

### 負担増にならぬよう努力 町長

問 平成29年度に向けた介護保険制度の改正

内容は、各市町村独自の事業もあり、自治体の知恵が期待される。利用者が安心できる事業にするには現状把握が重要。当町の実態は、

町長 65歳以上の27

33人を対象に、日常生活調査を実施した。

町の特徴として大きく3つが読み取れた。

①認知機能の低下傾向が顕著。どの年代も50%を超え、特に60代の半数に機能低下の疑いがあり大変特徴的。

②運動機能の低下。特に70代で3人に1人。

③閉じこもりの恐れがある人の割合は大変高い。70代で3人に1人、80代では半数以上がそ

の傾向にある。

特に閉じこもりのうち、認知機能低下を併

せ持つ人が49%と半数近くを占め、今後の対応課題と捉えている。

健康福祉課長 基本事項のチェックは毎年行

い、各種の予防事業の組み立てをしている。

問 病氣予防が介護予

防にもつながるとの観点で、2つの事業をコ

ラボして充実させ、経費の軽減に努められないか。住民負担の抑制にもなるが。

町長 現予防給付費や

対象者の伸び率を精査し、住民ニーズに合ったサービスの提供・日常生活改善へ取り組む。住民負担増にならな

い努力も大切であり、全力で検討する。

問 一般高齢者を対象

とした一次予防事業こそ重要。職員を各耕地・自治会へ派遣し、活

発に推進すべきでは。

健康福祉課長 地区で出前講座・健康教室を

行っている。広報や啓発は改めて考えたい。

### 循環バス事業の改革を

### 改革を

問 25年度事業は支払

額1837万円（一般財源）、運賃収入64万円であった。この事業は福祉的部分を含み黒字を見込むものではない。しかし、大きな支出が有効に働いてい

るとはいえず、厳しい財政の中、この状態を

続けてよいとは到底思えない。今後の運営は、

町長 生活交通確保対

策協議会で、改革に向け今後検討する。特に

まちなか活性化などの

取り組みと連携し考えたい。福祉施設や商業

の活性化を含め、利用者増を図りたい。利便

性の向上・経費節減の問題も新年度に向けて

検討する。

問 健康な高齢者の多

くが車を運転しており、年々循環バス利用者が減っている。そこで思い切った改革を提案する。循環バスは病院線のみとし、その他はタクシー券の該当条件を



総合窓口でスムーズに

### 総合窓口設置で住民サービスを

緩和し、交通弱者支援をする。次年度に向けて負担額・利用者の利便性に効果が出るか検討してはどうか。

町長 病院線はほとん

ど地域線からの乗り換えで利用されている。

地域線をなくし、タクシー券で支援となると

膨大な費用が予測される。循環バスとタクシー

券の併用で改善しながら運営していきたい。

問 来庁者への思いやりが感じられる総合窓口の設置をすべき。聴覚障がい者用に「耳マーク」の設置も必要。

今ある課に窓口表示し、費用をかけずできるが、

副町長 提案の窓口表示は非常に良いと思う

ので、早速検討したい。（以上3件質問）



本多 昇

## 専決処分

## 整合性を考え慎重に

## 本来の補正予算で 町長

問 平成25年度一般会計の実質収支が1億1752万円の黒字決算となり評価する。

ところで、土地開発公社運営補助金3000万円を25年度専決処理した真意は。

町長 25年度に措置したいとの判断から専決補正を行った。

今年度以降は、執行状況などをみて本来の補正予算に計上する。

問 3000万円を歳出しなければ一般会計の決算概要は大きく変わる。緊急性はなく、専決で処理しなければならぬ理由はない。26年度の補正で十分対応できた。

専決補正との整合性を考えれば、開発公社は未収金で計上し決算書に反映すべきだったのではないか。

総務課長 6月議会の承認がないと確定しないので、開発公社は受

け入れできず、未収金は無理な形になる。

3月補正での対応を検討する。

問 25年度の経常経費の不用額は1820万円、24年度は1981万円とほぼ同額である。

25年度決算不用額を検証し、27年度予算編成に反映させるべきだが。

総務課長 職員の創意工夫した中で不用額が出てくる。不用額となつたからといって削減できない。過去の決算状況、当年度の執行状況を踏まえ、細部検討し、新年度の予算を検討する。

## 道路改良事業

問 地元の道路は、土地の提供がなければ改良工事が行われない現状に問題はないか。

町長 早く事業を進め

るため、地区の協力で地権者の同意や用地の寄付を受け、事業を進める例もある。

地元の無償提供を前提条件にしていない。

問 町道呂久保横線の整備方針は。

町長 町道北街道縦3号線および荒田線の道路工事終了後に実施。荒田線との交差点部分は荒田線の改良に併せて実施する。

問 土砂災害警戒区域

にある鳴尾北線道路改良は、早急に対応すべきだが。

町長 緊急輸送路としての役割を担う。早急な実施は困難であるが、補助制度を検討する。

## 駒ヶ岳スマート

## IC活用を

問 飯島町の工業団地のモデルとして久根平工業団地がある。企業誘致促進のため、IC

近くの自然環境のすばらしい工業団地となる

よう、町が周辺整備を行うことができないか。

町長 私有地のため、町が間伐など整備はできない。所有者から森林整備の相談があれば対応する。

問 久根平工業団地に隣接して荒廃地がある。1区画の拡張が考えられるが。

町長 必要があれば工業団地を拡大するが、先行投資で造成はできない。

企業の要望に沿ったオーダーメイド方式で取り組んでいく。

問 産業振興・地域活性化・人口増など魅力あるまちづくりが重要。スマートICの活用を5次総後期計画の策定に向けて検討すべき。

町長 交通網・産業振興との関連の中で位置付けていく。

〔以上3件質問〕



緊急輸送路 鳴尾北線



# 井戸端会議で町民の思いをキャッチ

町議会と「いいちゃんまちづくり連絡協議会」との懇談会を、9月2日の夜7時30分からコスモス園で行いました。

5つの分散会で井戸端会議を行い、その後全体会でそれぞれの意見発表をしました。

テーマは大きく二つ取り上げました。

## テーマ1

「町をもっと元気に！みんなで知恵を出し合いましょう」

- 米俵マラソンを定着させるためには
- 沿線応援も楽しくなるよう企画を
- もつと宣伝と町民参加を
- 目的や情報を広く共有したい
- 参加費用が高いのでは

●人口減少をストップするには



いいちゃん懇談会

- 人口増にこだわり過ぎでは
- 空き屋対策を議員も訴えてほしい

## テーマ2

「こんな町になったらいいな」

模造紙に参加者が描く思いを書き出してもらいました。若者や子育て女性の

働く場・町民の健康的環境・温泉施設・農業環境・交通網・買い物店の充実などなど。今回はワークショップを試みたことで、具体的な町の課題が見えました。出された意見は町政に届け、よりよいまちづくりにつなげてまいります。

# 郷土を愛する心が活力を生む

女性議員で8月1日、小川村視察に行きました。長野市と大町市の間に位置し「日本の里100選」や「小川の庄おやき村」でも全国的に知られています。人口は2900人ほど。地場産業に村民ぐるみで取り組む姿を学んできました。

## 子育て支援施策

「義務教育修了までは小川村で！」と、出産祝い金制度・若者や子育て世代住宅の建設で、一定の成果を上げています。

## 小川の庄のおやき

今日に至る30年間の奮闘と、課題などを伺いました。

- 全村農業公園構想をかかげ、交流人口と入村者の拡大を目指している。
- 村営住宅は建てるそばから入居。（当町より家賃・条件が良い）
- 「地域おこし協力隊員新聞」で活動公開。
- 同級会助成事業
- 村内で開催すると条件により一割助成。
- ふるさと村民制度
- 村内外から募集し、地域を一緒に支える事業参加でサービスを受け



り、創業以来今が一番の正念場とのこと。

「おやき」の作れるおばあちゃんが少なくなり、「手づくり」は限界で機械化による工場生産になっています。

しかし「小川の庄おやき村」へ行くと囲炉裏で手作りおやきが頂けます。

村の事業に村民の力が発揮され、元気な村民環境が築かれていると感じました。中でも女性の活躍現場では、常に研究を重ねており大変勉強になりました。



## こだわり続けられ

## 夢は実現する

伊南4市町村議員研修

伊南市町村議会（宮田・駒ヶ根・飯島・中川）は、7月2日に飯島町で研修会を開催しました。

### 講演

（株）信州里の菓工房社長の鎌田真悟（まなぶ）さんを講師に「夢は実現する」環喜・貫喜・大歓喜」というテーマでお話をいただきました。

『栗きんとんがブームになった時、材料の栗を確保する競争に流されず、味と形にこだわった。同じ思いの栗農家と巡り会い、農家の利益と品質向上を進め、栽培農家を広げてきた。信念に基づく企業経営と、自治体・地域が一体となれば成長していける』という壮大な理念を学びました。

### 企業視察

#### ◆内堀醸造（株）

アルプス工場

飯島の清らかな地下水を醸造に使うことで、高い風味を維持しているそうです。

健康に良いといわれるフルーツピネガーを試飲しました。

#### ◆宮澤フルート製造（株）

飯島工場

想像以上に多くの細かな部品と、複雑で油にまみれた工程を経て、高精度に仕上げます。

最後に一本ずつ達人が音色をチェックし、優美な楽器が生まれることに感動しました。

町内のそれぞれの企業が、独自のこだわりを持って発展を続けている姿が印象に残りました。

## レタス王国の発想を学ぶ

全議員と事務局で、レタス日本一の南佐久郡川上村を9月24日に視察しました。

藤原忠彦（ただひこ）村長から、レタス王国に転身する経過をお聞きしました。

川上村は標高1200mの高地で、従来の農作物には不向きでした。朝鮮戦争を期にレタスの需要と適地であることに注目し、転換に踏み切ったのです。レタ

スや白菜などの農繁期は7カ月間で、あとは農閑期。この間に英気を養い、午前3時から収穫作業も頑張れるのだといいます。

また、農閑期を人づくりの機会ととらえ、24時間図書館や県産材カラマツを使用した文化館・体育館・中学校の建設などに力を注いでいます。安ければ良いという発想ではなく、



披露宴・同窓会にも使える中学校の食堂

いいものを作っておけば色あせないという信念が感じられました。

人口4163人ですが、議員定数は12人です。地域住民の代表に12人は必要としており、住民から削減の話は出ていないとのこと。今後、定数見直しも議論するが、おそらく削減はありえないと、由井美成（よしかず）議長は断言されていました。

女性議員は現在も過去にも出ておらず、農業委員にもいないそうです。70%が農家の村では、お母さんは最も大事な働き手で、家をあけることなど考えられないとか。

議会活動は決して活発とは言えないが、口利きなど議員本来の役目を果たしている様子は見えました。

## 地場産業と専門技術で

## 地方が生きる道

県町村議員研修会

県町村議会議長会が主催する研修会が7月18日に松本市で開催されました。

### 人口減少時代の

### 地方自治体

### 地方議会に

### 期待する

地方は地場産業・専門学校の構築を考え、専門技術を活かせる環境づくりを考えていくべきではないか。これからくる人口減

議員は住民ニーズを的確につかんで奔走すべきである。地方議員が地域包括ケアを通じて住民生活へ貢献することが必要と強調されました。

# 町民の声を 議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力をお願いし、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「飯島町障がい者地域活動支援センターやすらぎ」の代表 あぜがみ こういち 畔上浩一さんに登場していただきます。

## 「やすらぎ」はいつになっても

飯島町が設置主体となり、運営は社会福祉法人親愛の里(本部松川町)が本年4月から指定管理を受けて運営しています。

やすらぎは地域で暮らす人の居場所づくりをしています。障がいのある人を中心とした活動プログラムや様々な交流の機会を作って

います。

子どもからお年寄りまで障がいのあるなしに関わらず、どなたでも交流ができる場所づくりを目指しています。

### プログラムは

主なプログラムは軽作業・手工芸品作り・製品販売・音楽療法・



みんなの参加で

外出などのお楽しみ会・買い物・調理教室など様々です。また入浴設備も備えています。やすらぎでは、利用される人に合わせてプログラムを作っています。また入浴設備も備えています。やすらぎでは、利用される人に合わせてプログラムを作っています。また入浴設備も備えています。

### 利用方法は

やすらぎに直接お問い合わせいただくか、町健康福祉課地域福祉係までお問い合わせください。また一緒に活動していただけるボランティアを随時募集しております。

### 町と議会に望むこと

障がい者の福祉は、障害者基本法の改正・障害者虐待防止法・障

害者総合支援法・障害者差別解消法などの成立を通じて障害者権利条約に批准し、国の施策も「住み慣れた地域で当たり前の暮らしをする」ことが基本となっています。

私たちは、障がいの有無や年齢にかかわらず、国民誰もが互いに人格と個性を尊重し、支え合って共生する社会「共生社会」に向けた取り組みを求められています。

特に、障がいのある人が安心して地域生活を送るには「やすらぎ」のような「日中活動の場」と共に、グループホームのような「居住の場」困ったときに専門的な「相談ができる場所」が必要となります。

飯島町に生まれた障がいのある人もご家族も、そして地域の皆さんも安心して暮らすことができる環境づくりを一層進めていただければ幸いです。

### 編集後記

今回は新しい障害者施設「やすらぎ」をご紹介します。町民の皆様を知って頂き、親しいお付き合いが広がる事を願っています。

#### 発行責任者

議長 松下寿雄  
編集委員

◎中村 ○浜田  
・本多 ・久保島  
・橋場 ・折山

### 議会だより

#### 問題

平成25年度の一般会計の歳出総額は、  
□5億5963万円でした。□の数字はなんでしょう？

ヒントは  
2ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈  
(締切は11/30、発表は発送をもって代えさせていただきます)



住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ  
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町  
議会事務局議会だよりクイズ係宛まで